

沖縄県からの
お知らせです。

特定外来生物・沖縄県重点対策種

ツルヒヨドリの駆除及び 拡散防止にご協力ください



● ツルヒヨドリってどんな植物？



ツルヒヨドリ (*Mikania micrantha*) は、アメリカ大陸原産のキク科の植物で、ツル状の茎を広範囲に伸ばし、他の植物を覆うようにして繁殖します。

沖縄では、公園、農耕地、林道、河川、湿地等のさまざまな環境に侵入・定着しており、沖縄本島だけでなく石垣島や西表島などでも生育が確認されるなど、急速に分布を拡大しています。そのため、沖縄県では重点的に駆除等を実施する必要がある外来種として「**重点対策種**」に指定しています。

葉の周辺のギザギザと
弧状の葉脈が特徴的です。



冬に白い花が咲きます。



他の植物にかぶさって繁茂
するとこのように見えます。



● どんな被害がでているの？

農作物を衰弱させます。



在来の植物を覆って、衰弱させます。



アダンを覆うように繁茂するツルヒヨドリ

ツルヒヨドリは、繁殖力が非常に強く、他の植物が生育できないほど繁茂します。

そのため、農作物が被害を受けたり、在来の植物やそこに生息している動物（生態系）への影響が懸念されています。

● ツルヒヨドリとよく似た植物

ヤハズカズラ (*Thunbergia alata*) は、ツルヒヨドリと同じツル性の植物で、家庭園芸で観賞用に栽培されています。

葉の形が似ているので間違わないように気を付けましょう。



よ〜く観察
してみてね!

ヤハズカズラ

葉



花



ツルヒヨドリ

葉



花



ツルヒヨドリは葉の根本の切れ込みが深い

葉の周りのギザギザが多い

葉の先が細くなる

● 駆除を行い、拡散を防ぎましょう!

ご自分の敷地や農地などでツルヒヨドリを見つけた際には、生態系や農作物などへの被害を防ぐため、駆除を行いましょう。

ツルヒヨドリは種を飛ばして分布を広げます。また、除去後に残った茎片からでも発芽・発根し、再生します。そのため、服や靴底に種や茎が付いたまま移動すると、他の地域に分布を拡散させてしまいます。繁殖している地域に入ったり、駆除を行った後は、**拡散防止のため服に付いた種や靴底の泥を落としてから移動しましょう。**

なお、刈り取ったツルヒヨドリは取りこぼしがないように収集し、袋に密封した上で、各自治体のゴミ処理ルールに従い、燃えるゴミ等としてごみ捨てましょう。



ツルヒヨドリの種



刈り取った茎から発芽・発根しているツルヒヨドリ

取り扱いには注意が必要です!

ツルヒヨドリは農業や生態系への影響が大きいため、外来生物法により「特定外来生物」にも指定されており、以下のような行為は原則禁止されています。

ただし、**外来種の駆除活動における運搬・一次保管はゴミ袋に密閉するなどして拡散防止対策を行えば実施できます。**(詳細は下記リンク先①、②をご参照ください。)



栽培・種をまく



運搬

(拡散防止処理をすれば可)



保管

(拡散防止処理をすれば可)



販売・譲渡

外来生物法について詳しく知りたい方は → ①

<https://www.env.go.jp/nature/intro/llaw/index.html>

特定外来生物(植物)の駆除における運搬及び保管について → ②

<https://www.env.go.jp/nature/intro/llaw/files/150109sekoutuuchi.pdf>

沖縄県外来種対策指針等(重点対策種等)について → ③

<https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/shizenseibutsu/1018702/1004814/1004820.html>

①



②



③



発行者・問い合わせ先

沖縄県環境部自然保護課 希少種・外来種対策班

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 TEL:098-866-2243 FAX:098-866-2855

外来種対策事業(植物対策) 沖縄環境地域コンサルタント・南西環境研究所共同企業体
沖縄環境地域コンサルタント TEL:098-871-1135 / 南西環境研究所 TEL:098-835-8411